

【様式】

平成28年度 学校マネジメントシート

学校名 (久居農林高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>少人数教育を生かし、地域に根ざした専門高校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「農業」「家庭」の専門性を生かし、地域社会を担う将来のスペシャリストを育成します。 ・「生物」「環境」「生活」の情報発信基地として、地域に貢献します。
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>一人ひとりが主体となって活動し、社会貢献に意欲的に取り組み、自己の成長を実感しながら、将来地域を担う意欲を持った生徒。</p>
	ありたい 教職員像	<p>専門性を高めるとともに、授業形態や指導内容等の工夫・改善を行い、生徒の成長に喜びを感じ、充実感のもてる教職員。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>○生徒 わかりやすい授業、安心安全で楽しく過ごせる学校、自己の存在が実感できる学校、進路希望の実現</p> <p>○保護者 子どもを成長させてくれる信頼できる学校、進路希望の実現、職業観・勤労観および基本的マナーの定着</p> <p>○地域住民 地域に開かれた学校、将来地域を担う人材を育てる学校、基本的マナーの定着</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>○保護者 学力定着、進路希望実現、卒業後のケア</p> <p>○地域住民・産業界 教育資源の活用、知識や技能・意欲を持った生徒の育成、基礎学力</p> <p>○近隣保・幼・小・中・高校等 教育資源の活用、連携の強化</p>	<p>○保護者 生活指導等への理解と協力、学校行事への参加</p> <p>○地域住民・産業界 教育方針等の理解、学校経営への協力と参画</p> <p>○近隣保・幼・小・中・高校等 教育方針等の理解と協力、連携事業の強化</p>

<p>(3) 前年度の学校関係者評価等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・久居農林高校は学科やコース内のつながりが強いが、共通教科と専門学科の教員の連携が大切である。一層連携を強化して指導されたい。 ・新聞記事やテレビの報道を通して農林の生徒の様子がよくわかる。生徒は学校行事にも生き生きと取り組んでいる。今後も「わくわく農林塾」などの取り組みを進め、地域にアピールしてほしい。 ・部活動など低迷だと考えている場合、問題解決の具現化方針を明らかにしてほしい。 ・就職斡旋など進路実現には評価できるが、その成否を図る意味でも追跡調査をするなどその後の定着率などを調査してほしい。 ・遅刻減少など顕著な成果がある。今後は生徒個々に対して、その原因まで掘り下げた分析や対応が求められる。
<p>(4) 現状と課題</p>	<p>○生徒が主体となった地域貢献活動</p> <p>各コースがそれぞれの特色を活かした「わくわく農林塾」の活動はマスコミにたびたび取り上げられていることにより、本校の教育活動に対する地域の理解が広がりつつある。また、生徒は、自分達の活動が目に見える形で評価されたことで自信を持ち、意欲的に取り組むようになってきている。「農業」「家庭」のもつ魅力や学習内容をさらに浸透させていく必要がある。</p> <p>○勤労観・職業観の確立</p> <p>「日本版デュアルシステム・インターンシップ」「卒業生に聞く」「緑風デー」などの取り組みを進めると共に、進路指導部、担任、コースが連携し、きめ細かな進路指導を行った結果、就職内定100%を継続して達成している。今後は、全ての教育活動をキャリア教育の視点で整理し、1年次より組織的・系統的なキャリア教育を推進し、3年間でしっかりと職業観や勤労観を確立させ、生きる力を身につけさせることが課題である。</p> <p>○クラブ活動</p> <p>全国大会、東海大会等に出場し活躍しているクラブもあるが、全体的に見るとクラブ活動の成果が低迷していることから、学校全体でクラブ活動の活性化に取り組む必要がある。</p>
	<p>○少人数コース制</p> <p>「農業」「家庭」の専門性を高め、生徒のニーズにあった活性化を図ってきた。本校の最大の特徴である「少人数コース制」についてその成果と課題の検証を行い、効果を最大限生かすような教育内容、指導方法になっているか常に確認する必要がある。</p> <p>○組織的な指導体制</p> <p>個人の能力だけに頼らず「目指す学校像」実現のため、生徒指導や進路指導など組織的に指導する体制が整ってきている。今後、分掌や学科・コースを超えての連携やさらに教職員の力量を高めるためOJTを充実させる必要がある。</p>

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら学ぼうとする意欲を高めるため、自らが課題を設定し解決する学習活動を推進する。 ・生徒の進路希望を実現するため、あらゆる教育活動をキャリア教育の視点で捉え、就職・進学だけでなく、その先の社会活動を見通した組織的な進路指導をすすめる。
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に提供する学習内容を充実し、学力向上につなげるため、プロジェクト学習やアクティブ・ラーニング等の主体的な学習活動の研究を行い、全教職員が連携して授業改善に努める。 ・教職員が意欲的に業務に取り組み、充実感を得ることができるよう、組織の目的を共有する場を設けるとともに、組織の業務内容を見直し、過重労働の削減等に取り組む。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の 充実	<p>(1) 生徒が主体となるような授業を実践する</p> <p>【活動指標】 わくわく農林塾を各コース1回以上開催</p> <p>【成果指標】 アンケートにより自分の成長を感じたという回答70%以上</p> <p>(2) 生徒による授業評価を実施する</p> <p>【活動指標】 アンケートにより授業満足度を把握</p> <p>【成果指標】 授業がわかりやすいという回答70%以上</p>	(年度末および適宜記載)	◎
キャリア教育の 充実	<p>(1) 進路ガイダンスを充実する</p> <p>【活動指標】 3年生3回、1、2年生2回</p> <p>【成果指標】 進路ガイダンスの満足度80%以上</p> <p>(2) 主体的に進路を選択する</p> <p>【活動指標】 面接等の指導の充実を図る。</p> <p>【成果指標】 就職内定者数年内95%以上</p>		※
生徒指導の 充実	<p>(1) 服装・頭髪など身だしなみを整える</p> <p>【活動指標】 頭髪・服装指導 年間8回実施</p> <p>【成果指標】 頭髪再指導が10%以内<年度最終></p> <p>(2) 正しい生活習慣を身につける</p> <p>【活動指標】 遅刻カウンター・遅刻カードの活用</p> <p>【成果指標】 学校全体の遅刻の総数を全校生徒数以下</p>		※
保健管理の 充実	<p>(1) 健康管理を充実する</p> <p>【活動指標】 生徒自身が健康状態を把握し、健康の保持増進の意識を高める</p> <p>【成果指標】 すべての検診について受診100%</p> <p>(2) 保健教育を充実する</p> <p>【活動指標】 健康課題により、集団指導と個別指導を行い、さらには外部講師も活用する</p> <p>【成果指標】 アンケートによる満足度80%以上</p> <p>(3) 相談活動を充実する</p> <p>【活動指標】 保健室での相談活動を中心に行い、SCや発達障がい支援員と連携する</p> <p>【成果指標】 SCによる相談を5時間×32回実施 発達障がい支援員を月2回以上招聘</p>		※
改善課題			

(年度末に記載)

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組み	教職員の各種研修会を実施し、指導力向上に努める。 【活動指標】 各学期1回、参加率60%以上 【成果指標】 参加者の満足度80%以上	(年度末および適宜記載)	※
チームワークの向上・意欲の増進	分掌、学科、コース、学年間の連携、情報交換、情報共有に努める。 【活動指標】 アンケートにより満足度を把握する。 【成果指標】 学校経営への参画意欲ありという回答60%以上		
情報提供による信頼の構築	(1) 学校からの情報発信を積極的に行う。 【活動指標】 HPの充実、マスコミ等への情報提供 【成果指標】 HPトピックス60件以上、新聞50件以上、テレビ20件以上 (2) 進路説明会や高校生活入門講座等により志願者数を増やす。 【活動指標】 中学校20校以上、入門講座2回実施 【成果指標】 参加者数900名以上、前期選抜の志願倍率2.3倍以上、後期選抜1.3倍以上		
保護者・地域との連携	(1) わくわく農林塾の実施 【活動指標】 アンケートにより満足度を把握 【成果指標】 参加してよかったという回答80%以上 (2) 保護者との連携 【活動指標】 アンケートにより満足度を把握 【成果指標】 久居農林に入学させてよかったという回答90%以上		

働きやすい職場環境づくり	<p>(1) 行事や取り組みの精選をすすめる。 【活動指標】 アンケートにより満足度を把握 【成果指標】 取り組んでいるという回答70%以上</p> <p>(2) 会議の回数削減や時間短縮を図る。 【活動指標】 アンケートにより満足度を把握 【成果指標】 取り組んでいるという回答70%以上</p> <p>(3) 総勤務時間の縮減に向け、年次休暇等を取得しやすい環境をつくる 【活動指標】 アンケートにより満足度を把握 【成果指標】 取り組んでいるという回答70%以上</p>		
--------------	--	--	--

改善課題

(年度末に記載)

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)